

短期研修報告書

記入日 | 2015年 9月

所属・学年 | 文学部 人文学科 2年生

留学先大学 (国名)	フライブルク大学 (ドイツ)
短期研修のプログラム名	フライブルク大学 SLI International Summer Courses
選択した研修言語	ドイツ語
留学した期間	2015年 8月 3日 ~ 2015年 8月 29日

※文字数の制限はありません。自由に記載欄やページを増やしてください。

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、事前授業・オリエンテーションなど)

大学生の間に留学を経験してみたいと思っていたので、長期休みを利用していくことが出来る短期研修に申し込むことに決めた。留学を通じて、困難を乗り越える力や広い視野を身に付けようと思っていた。ドイツを留学先に選んだ理由は、第二外国語としてドイツ語を履修しており、また、ドイツという国自体にも興味があったからである。

申し込みは、海外留学室で教員の方の案内に従ってパソコンで行ったので、安心してすることが出来てよかった。

危機管理オリエンテーションでは、出国前にしておくべきことや現地で生活するうえで気を付ける点について教えてもらったので、海外に行くのが初めてであった私にとってはとても助かった。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流、Study Trip など)

1日の授業時間は、90分の授業が2コマで、間に30分の休憩が入った。普通の大学の授業時間と比べるととても少ないので、授業自体にあまり負担を感じることは無かった。教師がほとんどドイツ語で授業を行い、必要に応じて英語で補足説明を加えてくれた。授業では、文法事項を説明された後に、その文法を使った演習問題のプリントやミニゲームをした。

学生同士の交流は、少なめな印象だった。日本人クラスだったので、同じ大学の友達同士で固まっている傾向があった。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、自由時間の過ごし方、Optional Activities の内容や感想、持参して良かったものなど)

住居は寮の1人部屋が与えられた。オートロックなので安全面でも安心でき、プライバシーもしっかりしていた。寮自体はとてもきれいで部屋も広く、快適だった。学食で出る食事の量は、日本人にとってはだいぶ多いものだった。また、レストランで出る食事の量も同様だった。

財布はバッグの中に2つ入れるようにしていた。また、現金をあまり多く持ち歩かないようにしていた。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

スマホを手に持ったまま歩かないようにした。スマホを手に持ったまま歩いていたら、知らない男性に「スマホを貸して欲しい」。と言って話しかけられてしまったので、それ以降、気をつけていた。

5. 留学を終えて感じる事、後輩に伝えたいこと、留学プログラムに対する意見

1 ヶ月という期間は、行く前は長く感じていたけれど、実際に過ごしてみると、本当にあっという間だった。

ドイツで1 ヶ月を過ごし、精神的に成長出来た面もあるけれど、結局周りに流され積極的に動くことが出来なかったという後悔も大きく残った。留学に行って何をどれだけ得られるかは、自分が現地でどれだけ積極的に行動できるかにかかっていると思う。受け身なままだと、1 ヶ月過ごしても海外旅行の延長線上になってしまうのではないかと感じた。

6. 研修費用 (差支えなければおおよその金額を教えてください)

航空券代	168,610	
海外旅行保険	11,100	
研修費 (現地大学への支払い)	130,000	
Optional Activity 参加費	6,000	
食費	35,000	
交通費	8,000	
その他、通信費など	7,500	
小遣い	60,000	
計	426,210	円

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付も歓迎します。

フライブルク市のはずれにあるロープウェイに乗ると、黒い森を望む非常に雄大な景色を眺めることが出来たのでおすすめです。

以上

短期研修報告書

記入日 | 2015年 9月

所属・学年 | 情報文化学部 社会システム情報学科 3年生

留学先大学 (国名)	フライブルク大学 (ドイツ)
短期研修のプログラム名	フライブルク大学 SLI International Summer Courses
選択した研修言語	英語
留学した期間	2015年8月3日 ~ 2015年8月29日

※文字数の制限はありません。自由に記載欄やページを増やしてください。

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、事前授業・オリエンテーションなど)

以前に留学に行ったことがあり、その経験から英語をさらに上達したい、また外国人との交流をしたいという希望があり、また、このプログラムの費用が安いこともあって応募をしました。申し込み手続は海外留学室で他の参加者の人たちと一緒にやったので難しくありませんでした。事前授業やオリエンテーションは受けておりません。

留学前の準備としては、エクセルで以前に作った留学の持ち物表の、今回フライブルグ版を作ってそれに沿って持ち物をそろえました。英語の準備としては、随意科目として特別英語セミナーをとることと、昼休みに行われている English College にたまに参加するということをしました。

海外留学室の方のおかげで事前に他の名大の生徒と連絡先を交換しておくことができ、現地で短期留学が始まるまでに彼らとも情報交換をして、それは皆にとって大きな助けになったと思います。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流、Study Trip など)

研修内容としては、朝の9時15分から10時45分までが1限、30分の休憩をはさんで、11時15分から12時45分までが2限でした。午後の授業のコースは自分のレベルの場合は、午後の部の前半、午後の部の後半ともに1つしかなく、それが合わないと他の選択肢がないのですが、個人的にはそれよりも、学校が丁寧に毎日用意している様々なアクティビティに参加してクラスメイトとしゃべりながら観光する方が楽しく、問題ありませんでした。

授業は留学期間の授業の先生が1人に固定されるので、完全に運です。おそらくカリキュラムが無いか大まかなものしかなく、先生の裁量で授業内容が決まります。自分のクラスは英語5 (最も高いレベル) だったのですが、先生はプレゼンテーションやディスカッション、スピーキングに特化したレクチャーを行っていました。個人的には腰を据えたリーディングやCDを使ったリスニングもあって良かったです。日本ではできない、外国人との交流やスピーキング重視のレッスンというのは大半の生徒が望むもので理にかなっていると思います。

先生は元気にあふれていて、授業をすることにやる気があり、そこは本当によかったです。9人のクラスメイトも、国籍が、中国3、日本、インドネシア、スロバキア、フランス、ロシア、イラン、と多岐に渡っていて、日本人が自分しかいなかったことや、非常にうまい生

徒が数人おり、良い環境でした。英語を日常会話レベルでは普通に使うことのできるクラスメイトたちとも仲良くすることができ、ほとんど全ての授業後に大学の学食にクラスメイトたちと食へに行き、そのあとにアクティビティにそのまま参加するという、絵に描いたような英語を使う生活ができました。

3. 生活（住環境、食生活や健康管理、金銭管理、自由時間の過ごし方、Optional Activities の内容や感想、持参して良かったものなど）

寮の部屋は、割り当て地区や同じ地区の寮でも棟によって違い、また調理器具などはそこにその時期に住んでいる同居人によりました。フライパン一つしかなくてお湯を沸かすのにフライパン使う人もいるという話も聞きました。

自分の寮は一階につき4つのシェアドームがあり、それぞれのシェアドームには4人分の個人部屋とユニットバスとトイレ、個別のトイレ、共同キッチンがありました。フラットメイトは男女混合も多かったみたいですが、自分のところは全員男性で、他は日本人とイタリア人とシリア人でした。部屋は広く、快適でした。

食生活はスーパーで簡単なものを買ってきて食べるか外食をしました。基本的に学校のクラスメイトと多くの時間を過ごし、帰宅が毎日遅かったので、あまりフラットメイトとの交流はありませんでした。留学費用のほとんどを親に出費してもらうため、クレジットカード以外で現金として使ったお金は家計簿をつけました。

学校のアクティビティが充実していて、ハイキング、シティツアー、スポーツ、観光、美術館などあり、フライブルグをめいっばい楽しむことができました。週末にも小旅行と称したツアーが学校から出ていて、それにも参加しました。アクティビティに参加していればかなりの場所を巡ることができる上、集合場所も学校でアクセスしやすく、ガイドも自分たちと似たような年代のフレンドリーな現地の学生や留学中の日本人など、良い条件が整っているために他の生徒も多く参加しており、アクティビティでの時間で英語を使ったり交流を深めることができました。

部屋にスリッパと、ハンガーはありますが洗濯した小物をつるす角ハンガーはなかったので持って行ってよかったです。意外とアクティビティで歩くので、運動靴も持っていくとよいです。

4. 危機管理（身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど）

具体的に気を付けていたことや、実際に1か月で危険を感じたことはありませんでした。しかし、離れた場所へ観光に行った場合は、帰りの手段と、帰りのバスや電車の時間の確認をしてから観光を始めるということに気がつけました。帰れなくなるのはもちろん、夜になると本数が減ったりして帰宅が予想以上に遅れることがあるからです。

5. 留学を終えて感じること、後輩に伝えたいこと、留学プログラムに対する意見

最初に空港の待ち合わせ場所で驚いたのは、名大の他にも様々な大学から来ており、日本人が多いことでした。全部で170人くらいと聞いたのですが（コース全体で約600人の生徒）、初級の方のクラスでは日本人ばかりのクラスということを知りました。英語やドイツ語を話そうという意気込みの人でも、周りに外国人がいなければなかなか他のクラスへ捕まえに行くというのは難しく、また周りの日本人に気後れしてしまったりしやすいのではないかなと思いました。

でも、日本人の多寡によらない部分でも留学というものを受け止める姿勢に差を感じました。自分も日本人と一緒にいた時も楽しく、観光として楽しんだのですが、そうでない時、つまり外国の人と会話をするときも考え方や背景が違って、国籍の差が楽しいという、その両方が楽しいということを知ってほしいと思いました。たとえお互いに語学が十分ではなくて、成り立たないコミュニケーションだったとしても、身振りなどを多用して話しかけたり頑張ってみると、意外と同じく語学を勉強に来た相手も同じように話したがってるということもあったり、そういう触れ合い自体が面白いこともあるので、ぜひどこかで話しかけてみるということをしてほしいです。

でも、積極的に話しかけるといのは、申し訳なさや勇気がいるなどの壁があり、それを他の日本人の友達に囲まれた状態で自分ひとりでやるのも難しいので、観光以外の留学ならではの魅力などを説明して、留学先では日本にいる時と違う自分になって、他の人にできるだけ積極的に話しかけるといような、姿勢を柔らかくするような留学前レクチャーなどがあれば良いと思いました。もしそういったものが既にあるならすいません。

6. 研修費用 (差支えなければおおよその金額を教えてください)

航空券代	0円	無料航空券を使った。普通に買うと約12万円
海外旅行保険	0円	クレジットカードの契約に含まれているため
研修費 (現地大学への支払い)	10万円	
Optional Activity 参加費	↓	その他すべてを含めて使った金額を計算した
食費	↓	(現金の使った額+クレジットカードの請求額)
交通費	↓	その金額が約18万円
その他、通信費など	↓	ただし、研修後のイタリア旅行 (5日間) も含まれる
小遣い	18万円	
計		約28万円

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付も歓迎します。

留学が終わって感じたことについて。今までアメリカ5か月、イギリス3か月と語学学校に行った経験から、外国語=英語、外国でのコミュニケーション=英語、外国=英語くらいまでに固まっていたイメージが、英語が主要語じゃない国に来て、そして英語は話せずドイツ語を学ぶ生徒を見て、また、ドイツ語がメインのグループでドイツ語の会話が全く理解できなかった経験も含めて、異文化交流って英語だけじゃないし、外国=英語の国じゃないんだと実感しました。

英語力は高くないけどドイツ語が喋れる人を見て、英語の細かな文法の知識に関して色々言うことや、以前の語学学校は全てが英語レベルでクラス分けされるために、英語力で比較されたりすることすら視野が狭く思えました。また、トライリンガルのチューター (英語と日本語とドイツ語をしゃべれるチューターさんが多くいました) や、語学専攻の人に会って聞いた、話せば話せるほどコミュニケーションの輪が広がるといった話からも影響を受けて、語学を学んでなんなのだろうと思いました。英語の語学力を上げることもきりがなくともさながら、言語の話されている範囲で言えば英語以外のものを喋れたとしても通じる範囲は少なく

そのような一言語を学ぶのに年数を費やしたり、別の言語を追加で学んでみたり、そこまで考えると言語学習にはきりが無いようにも思えました。そんな視点も持ちつつも、やはり最初は英語をしっかりしゃべれるようになってほしいと思いました。これが今回、英語圏のオーストラリアやカナダではなく、ドイツでも良かったなと思ったことです。あとは、今回は日本人が多かったこと、それも年下ばかりだったこと、同じ大学の人もいることなどが以前留学した時とすごく違って、別の形の留学を見ることができて良かったです。

フライブルグは市内自体もきれいだし、少し離れた郊外にも、フランスやスイスにも、電車やトラムに乗って行けてアクセスもよく、観光のしやすいロケーションだと思いました。学校のスタッフのサービスはとても充実していて、掲示板などもわかりやすく出されていました。学食は安く、アクティビティを毎日用意しているのもとても良かったです。観光以外では寮と学校を往復する生活でしたが、どちらも大きな問題なく、留学のプログラムに申し込んだとおりに一か月過ごすことができました。

以上

短期研修報告書

記入日 | 2015年 9月

所属・学年 | 工 学部 化学生物工 学科 3 年生

留学先大学 (国名)	フライブルク大学 (ドイツ)
短期研修のプログラム名	フライブルク大学 SLI Interntaional Summer Courses
選択した研修言語	英語
留学した期間	2015年8月3日 ~ 2015年9月28日

※文字数の制限はありません。自由に記載欄やページを増やしてください。

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、事前授業・オリエンテーションなど)

ずっとヨーロッパへ見に行きたいです。今回全学の短期研修のきっかけにヨーロッパへ行きました。

学費を支払うとき、クレジットカードを準備することが重要です。今回は事前に知らなかったから、延期で学費を支払いました。先生が調整してくれたから、最後大丈夫でした。とても良かったです。

中国人ですから、ビザを申請するために、色々準備しました。ビザの申請は大阪か東京に行かなければできないのですが、大阪で申請したあと2日だけ郵送で届けました。よく準備したかもしれないから、思ったより簡単でした。

今回はドイツで英語を勉強しますから、本来ドイツ語を少しだけ勉強したいでした。しかし、期末テストがいっぱいありましたから、時間がなくて、ドイツ語を勉強しませんでした。事前は全学の安全オリエンテーションに参加しました。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流、Study Trip など)

今回は英語の勉強をしました。総計72時間の授業を受けました。全部午前中の授業でした。午後は自由の時間帯ですが、英語のセミナーに参加しました。セミナーは文学とHip-hopがありました。また、午後ではサブラボのようなコンピュータ室でも色々な教科書を自習することができます。

私が選んだのは科学英語ですから、クラスの人数はただ9人であり、少なかったです。先生はアメリカの先生であり、とてもいい先生でした。学生とも色々話し合っ、とても楽しかったです。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、自由時間の過ごし方、Optional Activities の内容や感想、持参して良かったものなど)

学校の寮に住みました。四人共用トイレとバスルームとキッチンの寮でした。私が住んでいる寮はあの大学の新しく建てた寮ですから、とてもきれいでした。ルームメイトも各国からの人であり、いろいろたすけてくれました。

炊飯器がないですから、あまり自炊しなかった。大体は大学の食堂でご飯を食べました。

午後の自由時間では、いろいろな活動が組織されますから、自分で選ぶことができます。週末も自分でいろいろ旅行しました。ドイツの治安はヨーロッパではいい国ですから、少し安心しましたが、できるだけ友達と一緒に旅行しました。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

ドイツはヨーロッパでは比較的 안전한国ですが。金曜日の夜や週末では不審な人は少ないと思います。夜の時注意する必要があります。

旅行する時もスリを注意し、自分の荷物、特に財布、携帯などを注意する必要があります。

ドイツの昼間と夜の温度の差が非常に大きいですから、風邪を引かないように、服の厚さを注意する必要があると思います。

5. 留学を終えて感じること、後輩に伝えたいこと、留学プログラムに対する意見

外国へ留学することがとても楽しい体験だと思います。異国の文化を尊敬し、いろいろなことを体験することが面白いです。

6. 研修費用 (差支えなければおおよその金額を教えてください)

航空券代	85,000	
海外旅行保険	16,000	
研修費 (現地大学への支払い)	123,200	
Optional Activity 参加費	4,200	
食費	14,000	
交通費	70,000	
その他、通信費など	旅行	70000
小遣い		
計	450,000	円

以上

短期研修報告書

記入日 | 2015年 9月

所属・学年 | 工学部 環境土木建築学科学科 1年生

留学先大学（国名）	フライブルク大学（ドイツ）
短期研修のプログラム名	フライブルク大学 SLI Interntaional Summer Courses
選択した研修言語	英語
留学した期間	2015年 8月 3日 ~ 2015年 8月 28日

※文字数の制限はありません。自由に記載欄やページを増やしてください。

1. 留学前の準備（応募のきっかけや動機、申込手続、事前授業・オリエンテーションなど）

応募のきっかけは在学中に複数回海外留学に行きたいと入学時から考えていたところに、海外留学に対する説明会に参加する機会が得られたこと。また応募の動機は英語の会話力をつけるためです。日本にいたら集中的に英語を聞くという時間が取れないことや話したいことを英語に変換するという練習ができないからです。申し込み手続きは留学のプログラムによって変わりますが、今回のプログラムでは手続きがとても簡単なので初めての研修ということ考えると不安でした。また事前授業やオリエンテーションはないので自ら行う準備が重要でした。学科の先生に相談したところ事前の英語学習が重要だといわれたため、英語の学習も行いました。

2. 研修内容や学校（内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流、Study Trip など）

授業において日本での学習よりも高度な英語を扱うことはありませんでした。中学生から高校生くらいにかけての会話表現や紛らわしい文法項目についての教科書を十人のクラスで進めていきました。基本的に授業中の問題は隣の人と二人一組で行われるため常に会話が行われている状況です。この授業形式が英語を話すことへの抵抗を低くしてくれたと思います。また日本人や中国人はヨーロッパ人に比べて文法の知識があるため、会話力では負けてしまうヨーロッパ人と同レベルに授業に参加できる点がよかったです。

平日の午前中にしか授業は行われなため少し学習の時間が足りないかなと感じました。そのため午後は大学の外国語学習者のための設備を存分に使い、リスニング強化にあてました。

学生同士は授業中にとっても仲良くなるため、休憩中や始業前はなかよく会話などしていました。しかし授業が終わってからの午後の時間で一緒に活動する学生は珍しく、それぞれ同じ国から来た人と行動する人がほとんどです。また言語学校について感じたこととして、初めにネット上で受けたテストでクラス分けされるのですが、自分に合っているクラスに変えてもらうように自分から頼むことが必要だと感じました。

3. 生活（住環境、食生活や健康管理、金銭管理、自由時間の過ごし方、Optional Activities の内容や感想、持参して良かったものなど）

住環境について、大学の学生寮に住んでいたためにルームシェアしている人や同じ階の人とはご飯を食べたり、会話をしたりしました。一度オートロックの部屋から追い出されてしまった時に同じ階に住む同世代の人たちに食料を分けてもらったり、ドイツ語しか話せないルームマイスターに連絡を取ってもらったりしました。この経験は私だけのものですが、他国の人だからといって怖がらずに話しかけることが大事かなと思いました。

4. 危機管理（身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど）

実際に身の危険を感じるほどの場面はありませんでした。しかしながらスリにあったという話をきいたので、自分の荷物への注意を払うことは常にしていました。また深夜の外出などのときは気を付けていました。

5. 留学を終えて感じること、後輩に伝えたいこと、留学プログラムに対する意見

留学を終えて感じることは、結局なにをめぐして留学したのかということ意識することが重要だと思います。僕の場合は、将来外国語を話せるようになるためと外国の街並みを見て回るためです。このふたつのために留学しました。目的意識を持つことで、授業中の積極性も増すかなと思いました。また自由時間がたくさんあるため、時間を有意義に使うことが重要です。あらかじめ時間があるときにしたいことを考えておくべきだと思います。また私はいくつかの街を散策しましたが、その街についてより多くの知識があるとより楽しかったと思うので勉強面以外の知識を備えていくことも必要かなと思いました。

6. 研修費用（差支えなければおおよその金額を教えてください）

航空券代	15 万円	
海外旅行保険		
研修費（現地大学への支払い）	13 万円	
Optional Activity 参加費	3 万円	
食費	5 万円	
交通費		
その他、通信費など		
小遣い	3 万円	
計	40 万	円

以上

短期研修報告書

記入日 | 2015年 9月

所属・学年 | 経済学部 学科 1年生

留学先大学（国名）	フライブルク大学（ドイツ）
短期研修のプログラム名	フライブルク大学 SLI International Summer Courses
選択した研修言語	英語
留学した期間	2015年 8月 3日 ~ 2015年 9月 1日

※文字数の制限はありません。自由に記載欄やページを増やしてください。

1. 留学前の準備（応募のきっかけや動機、申込手続、事前授業・オリエンテーションなど）

長期留学を考えており、そのための経験としてとにかく早い時期に一度留学をしておきたかったのが、応募しました。申し込みの手続きについては、わからないところがあれば海外留学室の先生に質問をして解決することができたので、スムーズに進めることができました。また、事前の危機管理オリエンテーションに参加することで、向こうでの生活上気を付けるべきことを学べたのがよかったと思います。

2. 研修内容や学校（内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流、Study Trip など）

通常の授業は平日の午前に行われました。時間は3時間程度です。午後には演習の授業が開講されていましたが、僕は学生寮の自分の部屋や、図書館で勉強していました。授業の内容自体はそんなに難しいものではありませんでしたが、すべてを英語でこなすのはとても難しく、いい経験になりました。また、平日の午後には学校がアクティビティを企画してくれていたため、それに申し込むことでいろんな友達ことができました。

3. 生活（住環境、食生活や健康管理、金銭管理、自由時間の過ごし方、Optional Activities の内容や感想、持参して良かったものなど）

僕は学生寮に滞在していましたが、とてもきれいでした。キッチンが共同で、さまざまな調理器具や調味料も自由に使えたのでかなり助かりました。向こうのスーパーは食べ物がとても安いので、食費はあまりかけずに済んだと思います。持参してよかったものは、インスタントのごはん、味噌汁、うどんです。向こうのアジアンショップでこれらのものは買うことができますが、値段が高く、味もおいしくないため、持って行ってよかったです。

4. 危機管理（身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど）

夜は学生寮からでないようにしていました。また、電車やトラムに乗っているときは、リュックを必ず前で抱えて、すられないように心掛けていました。さらに、外務省のインターネットサイトで危険なスポットを確認して、そこには近づかないようにしました。

5. 留学を終えて感じる事、後輩に伝えたい事、留学プログラムに対する意見

当たり前ですが、自分の語学力の無力さを痛感できたことがよかったと思います。また、学生寮や大学で親切的な友達がたくさんでき、とても助けられました。彼らに将来恩返ししたいと思いました。そしてやはり思うのは、この大学1年の早い時期に留学を経験できて本当によかったということです。この経験を長期留学にうまく役立てていくことができそうです。

6. 研修費用 (差支えなければおおよその金額を教えてください)

航空券代	13万円	
海外旅行保険	1万円	
研修費 (現地大学への支払い)	17万円	
Optional Activity 参加費	1万円	
食費	4万円	
交通費	3万円	
その他、通信費など	1万円	
小遣い	6万円	
計		45万円

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付も歓迎します。

ハイデルベルクを訪れることをおすすめします。僕が行った街の中で一番街並みがきれいでした。また、ハイデルベルク大学の学生寮や、ハイデルベルク城は見る価値が本当にあります。

短期研修報告書

記入 | 2015年 09月

所属 & 学年 | 国際言語文化研究科 D3

留学先大学 (国名)	フライブルク大学
短期研修のプログラム名	フライブルク大学 SLI 語学研修
留学した期間	2015年9月2日 ~ 2015年9月22日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

私は言語学に関する内容を専門としています。ヨーロッパは多種多様な言語が使われるところであるため、ずっと前からヨーロッパに短期留学するのが私の憧れることになりました。ドイツ語の授業を受けたことはないですが、文法ぐらいをちょっと勉強してみると自分の研究に役に立つことを発見するかもしれないと思いながら、インターネットで申し込みました。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

ドイツ語の初級クラスを申し込みました。インターナショナルクラスで3週間に勉強しました。クラスメートはカナダ、メキシコ、アメリカ、イタリア、香港、日本等の国から来た15人でした。ドイツ人の女性の先生はとても親切で、いろんな面白い教学方法で、リラックスの雰囲気の中に授業を行いました。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

同じ階で6人がいた大学の寮に住んでいました。ドイツ人のフラットメイトたちはとても親切でドイツ語の勉強をいろいろサポートしてもらいました。食生活に関しては、パンとソーセージとジャガイモが主な食べ物ですが、毎日三食ともパンを食べるのが普通です。私はチンすれば食べられるコンパクトのご飯を日本から五つ持ってきて、とても良かったです。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

ドイツはヨーロッパにおける比較的安全な国だと思って、特に危機を感じたことはなかったです。

5. 留学を終えて感じる事 & 留学を考えている学生へのメッセージ

はじめてアジアを出て、ヨーロッパに行った留学です。とてもいい経験になります。異文化コミュニケーションして、カルチャーショックを受けて、自分との異なる思考方式を理解し、視野も広がっていきました。留学の経験は人生の宝になりますので、健康な体、たくさんではないお金、自分で生活していく自信さえあれば、留学するのはとてもいい選択だと思います。

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃 & ビザ申請料	約 120000 円	
海外旅行保険	5830 円	
授業料 (教材費含)	約 72500 円	
滞在費 (寮費など)	約 43500 円	
食費	約 50000 円	
交通費	約 15000 円	
その他 (小遣い、通信費など)	約 50000 円	
計	約 356,830 円	

短期研修報告書

記入 | 2015年 10月
所属&学年 | 教育学部 2年生

留学先大学(国名)	フライブルク大学(ドイツ)
短期研修のプログラム名	フライブルク大学 SLI 語学研修
留学した期間	2015年 9月 2日 ~ 2015年 9月 27日

1. 留学前の準備(応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

5月ごろに行くことを決めたが、飛行機や現地の新幹線のチケットを取ったのは7月ごろになった。それでも早割でわりと安いのがとれた。学校のある間は忙しかったので、8月に英語の復習をしておいた。リスニングは普段から自主勉強を続けていた。

2. 研修内容や学校(内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

午前は英語で文法や英作、スピーキングなどの授業。最後は一人ひとりプレゼンもあった。午後は簡単な講義形式で、私はHip-hopに関する授業をとった。午前よりスピーキングの機会が多かった。私のクラスは日本人しかいなかったのが残念。午後は他国の人もいた。

3. 生活(住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

寮は4人(男女混合)のルームシェア(個人部屋あり)だった。大学からトラムで13分、駅から徒歩10分のところで決して近くはなかった。硬水が苦手であれば水道水を飲むことができる。日本食は自分のためにもお土産にも持っていくべき。現地はかなり寒かった!日によるが暖かい服は多めに持って行くべき。大学付近の街はファストファッション店も多いので現地調達もあり。

4. 危機管理(身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

中央駅やフランスへ行くときは荷物をしっかり前で持つようにした。リュックはおすすめしない。

5. 留学を終えて感じること&留学を考えている学生へのメッセージ

短期留学で得られるのは、語学力というより『自信』だと思う。一人で行くことや話す機会が増えることで、海外へ行くことや話すことに抵抗がなくなった。

6. 研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	12.0000 円	
海外旅行保険	10.000 円	
授業料（教材費含）	81200 円	
滞在費（寮費など）	42000 円	
食費	30000 円	
交通費	4200 円	1 か月分の定期代金
その他（小遣い、通信費など）	130000 円	ホテル代含め
計	約 420.000	円

自由記述欄 *現地のおすすめ情報や留学エピソードなど自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します

一言で言うと・・・楽しかった！につきます。まず授業は日本の授業に比べるとアットホームな雰囲気です。習う内容は簡単ですが、それを英語で説明されるのでリスニング力はつくと思います。スピーキング力は積極的に喋らなければあまり伸びません。参加者は日本人が多いので、そこばかりでかたまってしまうと本当に英語を話す機会がなくなります。でも現地では午後にアクティビティーをたくさん用意してくれているので、そこで他のプログラムの留学生ともコミュニケーションをとるチャンスはたくさんあります！しかも内容も、スポーツしたり、バーに行ったり、観光地に行ったりととても楽しいものばかりです(^_^)ご飯もビールも美味しいし安い！ 定期圏内でスイス、フランスに行くことができるのも魅力です。

それからパッケージ型ではないので、自分の好きな日にちに好きな飛行機で行けるのも魅力であり、勉強になったところです。私は5日ほど早めに日本を離れ、母と二人で経由地のフィンランド、エストニアを旅し、その後別れてドイツへ向かいました。自分で飛行機も列車も自分でチケットを買って乗るのが、時間はかかったけど自分のためになったと思います。滞在中も放課後一人でフランスに行くこともあり、一人で海外を旅する自信ができました。

